柔道競技要項

期 日 平成27年7月4日(土)・5日(日)

会 場 鈴鹿市武道館

住所:鈴鹿市江島台二丁目6-1

電話:059-388-0622

審判・監督会議 9時30分

開会式 10時00分

閉会式 競技終了後

A. 競技規定

(1) 試合は「国際柔道連盟試合審判規定」による。(平成26年4月1日から実施の新規定)

- (2) 試合時間は、全国大会団体予選・男子個人戦とも4分とし、勝抜戦・女子個人試合は3分とする。ゴールデンスコアは時間無制限とする。
- (3) 「優勢勝ち」の判定基準について
 - ① 団体試合は、「有効」又は「指導差2」以上とする。
 - ② 団体戦の代表戦(任意選出)及び個人試合は、「有効」又は「指導」以上とする。得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式で勝敗を決する。両試合者が「累積による反則負け」の場合は、ゴールデンスコア方式で勝敗を決する。
- (4) 関節技においては、その効果があると認めたとき、審判員の見込みによって「一本」の判断を下すことができる。但し、絞技においては、見込みによる判定を行わない。
- (5) 選手は、全日本柔道連盟新規格の柔道衣を着用し、規定のゼッケン(横30±3cm, 縦22±3cm)を付けること。また、試合中柔道衣の破損などにより、試合に支障をきたす場合には、同チームの別の柔道衣(規定に合ったもの)の着用を認める。(平成27年度までは従来の物でもよい)
- (6) 試合中審判に対して意見(抗議)を言う監督については、三人の審判員で合議し、その監督に 言動を慎むように注意をすることができる。なお続くようであれば、その監督を退場させることが できる。(平成24年4月1日全柔連通達事項)
- (7) 両試合者が「同時的反則負」の場合は両者負けとし、「同時一本」の場合は「引分」とする。また、ダイビングによる「反則負け」については、その後の一連の試合に出場できない。ただし、団体戦と個人戦は別とする。
- (8) 出場選手は、全日本柔道連盟に登録している者とし、申し込みにあたっては、全日本柔道連盟登録ナンバーを記入すること。
- (9) 出場選手の変更については、正当な理由がある場合、所定の用紙に手続きした上で、顧問会議によって可否を決定する。
- (10) 脳震盪対応については、平成24年4月1日付け全柔連通達事項を厳守する事。

B. 競技方法

- (1) 全国高専大会団体予選
 - ① 試合は、5高専によるリーグ戦で行う。
 - ② 各試合は、5名の選手による点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
 - ③ チーム人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内とする。
 - ④ リーグ戦内のチーム対チームの勝敗は、勝数の多いチームを勝とする。勝数が同数の場合は、勝内容(一本勝数・技有勝数・有効勝数・僅差勝数)の多い順で決定する。勝内容も同じ場合は、引き分けとする。(IJF新ルール2014-2016の対応を適用)
 - ⑤ リーグ戦の順位の決定は、チーム戦勝数の多いチームを上位とする。勝数が同数の場合は、 負数の少ないチームを上位とする。勝負同数の場合は、総得点の多いチームを上位とする。それでも勝負が決定しない場合は、代表戦によって決定する。
 - ⑥ 団体試合の勝内容は、一本勝ち(不戦・棄権・反則)10点、技有勝8点、有効勝7点、僅差勝 6.5点、引き分け・負け0点とする。
 - ⑦ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。(当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。)

- ⑧ 表彰は、1位に優勝杯、1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ⑨ 優勝校は、第50回全国高等専門学校体育大会(団体の部)への出場権を得る。

(2) 男子個人の部

- ① 出場人員は、監督1名、マネージャー1名、選手は60kg級・73kg級・90kg・90kg超級の4階級に14名以内の出場とする。
- ② 試合は、体重別によるトーナメント戦とする。(トーナメント戦の組合せについては、出場人数の関係上不平等性がある場合、顧問会議で確認し再抽選を行うことができる。)
- ③ 3位決定戦は行わない。
- ④ 計量に合格しない者は、出場できない。計量は、マネージャー立会いのもと行い、所定の時間内であれば何度でも行うことができる。ただし選手の計量は1日で行うものとする。(大会初日の試合終了後の所定時間内か、個人試合当日の所定時間内のどちらかを、選手が選択でき
- ス) ⑤ 前年度3位以内に入賞した選手を、シード選手とする。
- ⑥ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ⑦ 各階級の優勝者は、第50回全国高等専門学校体育大会(男子個人の部)への出場権を得る。

(3) 女子個人の部

- ① 階級は、軽量級・中量級・重量級とする。*第50回全国大会より、女子の階級についてはエントリー状況を確認して階級が決定されるため。
- ② 試合組み合わせは、顧問会議にて出場者数を確認し、リーグ戦・トーナメント戦の試合方式を決定し、抽選を行う。
- ③ 計量は、顧問会議の時間に、マネージャー立会いのもと行い階級を確認する。
- ④ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ⑤ 各階級の入賞者は、北陸地区の同階級入賞者との間で、東海地区・北陸地区の代表顧問間により全国大会出場の決定を行い、東海北陸地区代表として各階級3名が、第50回全国高等専門学校体育大会(女子個人の部)への出場権を得る。(前年度全国大会上位入賞者等、過去の実績を重視する。)

(4) 勝抜団体試合

- ① 出場人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手10名以内、計13名以内とし、全国大会「団体の部」予選に出場しない選手とする。
- ② 試合はリーグ戦とし、7名による勝抜戦で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
- ③ 順位の決定は、勝数の多いチームを勝とする。同勝数の場合は、負数の少ないチームを上位とする。勝数・負数が同じ場合は、残者数の多いチームを上位とする。それでも順位が決定しない場合は、代表戦を行う。
- ④ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。(当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。)
- ⑤ 表彰は1位、2位に賞状を授与する。